

NICOLAS NAMORADZE

PIANO RECITAL

NICOLAS NAMORADZE

RESTRUCTURE

クラシック 再構築

NICOLAS
NAMORADZE

CLASSIC

NICOLAS NAMORADZE

クラシック 再構築

**ニコラス
ナモラーゼ**
Japan Debut ピアノリサイタル

東京文化会館小ホール
2019年6月9日(日)
午後2時開演 1時半開場

スクリャーピン ソナタ 第9番 op.68 <嵐ミサ>
バッハ シンフォニア 第9番 へ短調 BWV795
バッハ バルチーータ 第6番 水短調 BWV 830
シューマン アラベスク 八長調 op.18
シューマン 晩の歌 op.133
ナモラーゼ アラベスク 2018年作
ナモラーゼ 練習曲 第1,2,3番

Nicolas Namoradze

主催 アイエムシーミュージック
 協力 The Honens International Piano Competition & Festival
 編成 在日ジョージア大使館

ピアニストと作曲家という二つの顔をもつナモラーゼは、2018年カナダで開催されたホーネンズ国際ピアノコンクールで優勝しピアニストとして注目を集める存在となった。

「比類なき」、「ピアニストの中のピアニスト」、「彼がいわゆるありふれたコンクールピアニストではないことは初めから明白であった。その卓越したテクニックよりもむしろ、その多彩な音色と洗練された迷いのない確信に満ちた音楽は、最も単純なパッセージでさえも意味深い特別な響きに定評させていた。そういった理由に値する比類ない能力がこの舞台で彼を頂点へと押し上げたのだ。…磨き上げられた彼の演奏はすでに国際的水準に達しており、その解釈はどこをとっても注目と称賛に値する。」—カールギー・ヘラルド紙

今後はカーネギーホールなど欧米の主要ホールでのリサイタルや、ホーネンズとハイペリオンレーベルによるCDの録音、ロンドン・フィルなどとの共演や世界各地の著名音楽祭への出演が予定されている。

1992年東ヨーロッパの国ジョージアに生まれ家族でハンガリーへ移り幼少期をすごし7歳でピアノを始める。その後ブダペスト、ウィーン、フィレンツェの音楽大学を経てニューヨーク・ジュリアード音楽院修士課程に入学。現在はニューヨーク市立大学大学院センター博士課程に在籍している。

これまでにピアノをエマニュエル・アックス、ヨハヴェド・カプリンスキー、ゾルタン・コチシュ、マッティ・ラエカッリオ、エリッ・ヴィルサラゼ各氏にジョン・コリアーノに作曲を師事した。

桁外れの芸術家 “An extraordinary artist.”
 Emanuel AX
 “Hyman”
 Emanuel AX

作曲活動として特筆すべきは現代美術家で抽象画ペインターのファビエンス・ヴェルディエ Fabienne Verdier の映像作品 “Walking painting” やエクサン・プロヴァンス音楽祭(仏)に関連して制作されたショートフィルム “Nuit d’opera a Aix” への参加が挙げられる。

どちらの作品でも一つの音に対する想像力の深みとその効果的な構成力は非凡なものを感じさせる。

現代音楽や一般には知られていないピアノ曲への関心も強く、ゴドフスキー「ショパンのエチュードによる練習曲」やリグティ「練習曲」、実演機会の少ないドヴォルジャーク「ピアノ協奏曲」などや、現代作曲家による作品を組み入れたユニークなプログラムにも積極的に取り組んでいる。

彼の個性は既成のピアニズムの形に収まらずこれからもクラシックの新たな地平をめざして羽ばたいていくことだろう。今回の様な通常のピアノリサイタルの形式の中においてさえも、随所に散りばめられた未知なる煌めきを、聴く者それぞれが発見して心に留めていただけたら幸いである。

ただひとつ、純粹に美しい

ウォール・ストリート・ジャーナル

「21世紀の聴衆のための21世紀の芸術家」の発掘と育成を標榜するユニークなコンクール。1992年から3、4年毎にカナダ・カルガリーで開催されており、優勝者には100,000カナドル(約850万円)と世界の主要ホールでのリサイタルデビューやハイペリオンレーベル(英)からのCDデビューを含む3年間のキャリアサポートが約束されている。



Fabienne Verdier - Walking Painting



その強固な構想力と完璧な芸術性に脱帽するしかない

“The strength of the conception and the sheer level of artistry compel me to take my hat off to him.”
 —ゾルタン・コチシュ / Zoltán Kocsis

特色としては、審査終了後に参加者全員が審査員から直接アドバイスがもらえることやセミファイナルでは65分のソロリサイタルとは別にアンサンブルリサイタルも必須とされ、ソロリサイタルのプログラムは自由度が高く現代曲も組み入れることが推奨されている。また、ソロリサイタルのあとはアンコールを演奏することも可能。加えて事前に行われた予選ラウンドではソロ演奏のほか英語によるインタビュー、そして本選に選ばれた3名も15分間のインタビューが課せられ、それらすべてが審査の対象として考慮されていることが挙げられる。出場者には演奏技術だけではなく、国際的に活躍するプロフェッショナルな音楽家として必要な素養が備わっているかどうかとも問われるというわけだ。そして審査員はアンドレ・ラブラント氏、アレクシオ・バックス氏、イングリット・フリッター氏など、国際的に活躍している現役ピアニストを中心に、欧米の音楽祭やオーケストラマネージャーが招かれていることも特筆に値するだろう。

The Honens Piano Competition



Nuit d’Opéra à Aix



INFORMATION 2019年6月9日(日)

午後2時開演 1時半開場
東京文化会館 小ホール
 全席指定 一般3,000円 学生1,000円

(席数限定)2公演セット券 一般発売
 6,000円 2018.12.20(木)午前10時

本公演と下記、9/15 ニコラーエフ公演と同時に購入し限り2公演セット6,000円で購入いただけます。※アイエムシーのみ取扱い

PLAY GUIDE

チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード: 135-443
 イープラス <http://eplus.jp>
 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
<http://www.t-bunka.jp/>

アイエムシーミュージック (平日10:00~18:00)

03-6907-2535

※学生券:アイエムシーのみ取扱い、枚数限定、座席指定不可、チケット当日お渡し、28歳以下で入場時に学生証の提示要。※未就学児の入場はご遠慮いただいております。
 ※プログラムの変更による払い戻しはいたしません。



ピアノリサイタル2019
**アルセニ・タラセヴィチ
 ニコラーエフ**
東京文化会館小ホール
 2019年9月15日(日)午後2時開演
 一般4000円・学生1,000円 / 2公演セット券 6,000円

ショパン バラード 全曲
 ラマニニア
 コレリの主題による変奏曲 作品42 2楽章
 13の前奏曲 作品32 より 他

ショパン倶楽部会員募集中

本公演チケットと同時入会でご割引適用もできます。(入会、年会費無料)

特典①: 公演チケットの先行予約と会員割引

指定の弊社公演チケットを、いち早くご予約いただけるほか、会員割引価格にて、お買い求めいただけます。会員登録をした当日よりサービスが適用されます。

特典②: 情報サービス

郵送(DM)、E-mail(メールマガジン)にて、弊社主催コンサートの情報等を一般公開に先駆けてお届け致します。

Web申込み <http://management.imc-music.net/concerts/chopin-club>